

産業応用フォーラム

「回転機電磁界解析の実用的総合評価技術」

概要：回転機の小型化，高性能化を図る上で回転機の電磁界解析技術の重要性は年々高まっております。本解析技術の発展ならびに普及促進を図るべく，「回転機電磁界解析の実用的総合評価技術調査専門委員会」は，2016年5月～2018年3月の約3年間にわたり，回転機電磁界解析技術に関して調査検討し，電気学会技術報告として出版いたしました。最適化手法を適用したモデリング技術や並列計算法，ビヘイビアモデル適用例，巻線循環電流損，積層鋼板の渦電流損，永久磁石の損失特性・減磁解析などの解析技術と新しい6極9スロットの集中巻きIPMSMベンチマークモデル（Gモデル）を提案し，解析と実測との比較検討を行っております。さらに，アウトロータ型IPMモータ，電力向け大形回転機，SRM，SynRMの解析応用事例について調査したものをまとめております。これら最新の回転機電磁界解析の技術動向と応用を，同調査専門委員会のメンバーを講師とし，同技術に関心のある技術者，研究者，学生等の皆様を広く対象として，最新の技術動向と応用を解説いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2021年3月16日（火）13:30～17:00

会場：Zoomによるオンライン開催

注意事項：新型コロナウイルスの感染状況により，オンライン参加のみといたします。

プログラム：

- 13:30-13:35 開会，主催者挨拶
- 13:35-13:45 総論と回転機解析技術に関する動向調査 貝森 弘行（サイエンスソリューションズ）
- 13:45-14:15 解析技術の最新動向（モデリング技術，ビヘイビアモデル，交流損失評価） 藤田 真史（東芝エネルギーシステムズ）
北尾 純士（三菱電機）
- 14:15-14:45 材料特性のモデル化
休憩（15分）
- 15:00-15:30 集中巻IPMSMベンチマークモデル（Gモデル） 貝森 弘行（サイエンスソリューションズ）
- 15:30-16:00 解析技術の最新動向（最適化手法，高速化技術） 高橋 康人（同志社大学）
- 16:00-16:40 回転機電磁界解析の応用事例 三須 大輔（東芝インフラシステムズ）
- 16:40-16:50 総合討論
- 16:50-16:55 主催者挨拶，閉会

司会進行：大口 英樹（東海大学）

テキスト：電気学会技術報告 第1476号「回転機電磁界解析の実用的総合評価技術」をテキストとして使用します。希望者は，[電気学会電子図書館](https://www.bookpark.ne.jp/ieej/)から各自で購入してください。

電気学会電子図書館：<https://www.bookpark.ne.jp/ieej/>

（価格：書籍版：会員 ¥3,141-，非会員 ¥4,488- PDF版：会員 ¥4,712-，非会員 ¥6,732- いずれも税込）

参加費： 会員(正員) ¥6,000- (税込) 非会員(一般) ¥8,500- (税込)

会員(准・学生員) ¥3,000- (税込) 非会員(学生) ¥4,200- (税込)

申込方法：ホームページからのお申込みください。（締切 3月8日）：https://www.iee.jp/ias/d_event/iaforum

定員250名に達し次第，参加の受付を締め切らせていただきます。なお，定員を超えた場合には，会員を優先しますので，ご了承願います。（非会員の方は，是非この機会に電気学会へのご入会をご検討下さい。）

参加費支払方法：Webからのクレジットカードのみのお支払いとなります。決済後はWebサイトにて領収書が発行されます。

問合せ先：サイエンスソリューションズ(株) 貝森 弘行 E-mail : kaimorih@ssl.co.jp

【注(at)を@に置き換えて送信してください。】

主催：電気学会産業応用部門 回転機技術委員会（委員長 千葉 明）

協賛：電気学会 電力・エネルギー部門 静止器技術委員会（委員長 小林 隆幸）